Marubeni

Marubeni IR Day 2025

キャッシュ・フロー経営の 深化と資本配分方針

代表取締役 専務執行役員 CFO **古谷 孝之**



資本配分は企業価値向上に向けた経営戦略の根幹

- 基礎営業キャッシュ・フローの最大化・投資の回収促進によりキャッシュイン最大化を追求
- 創出したキャッシュについては、成長投資に優先配分すると同時に株主還元の更なる強化を図る

フリーキャッシュ 🕂 成長投資・株主環元へ 投資の回収 柔軟に配分 6,000億円 株主環元 7,000億円 戦略プラットフォーム型 戦略的な 事業 資本配分 12,000億円 資源投資 新規投資· 2,000億円 基礎営業CF **CAPEX等** インフラ事業・ 17,000億円 20,000億円 ファイナンス事業 2,000億円 長期目線の種まき 基礎営業CFの 1,000億円 最大化

キャッシュイン

キャッシュ・フロー経営における 企業価値向上に向けたアプローチ

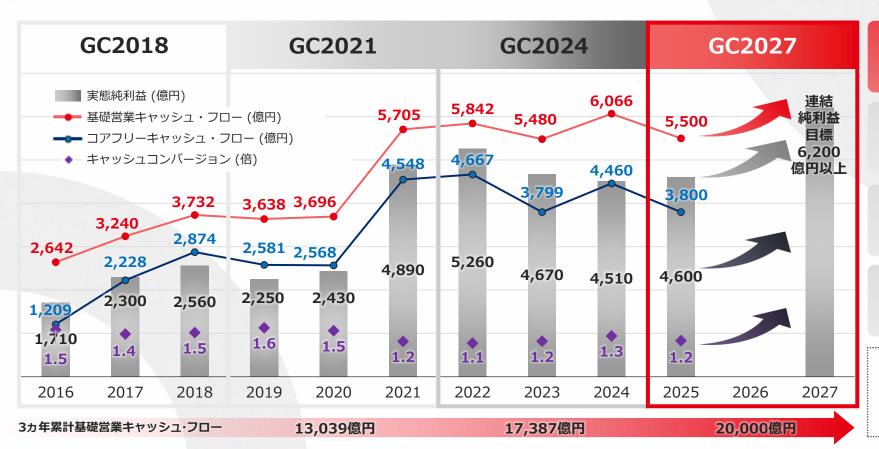
- ①基礎営業キャッシュ・フローの最大化
- ②投資の回収・成長投資による事業ポートフォリオ強化
 - ③投資の精度向上
 - 4株主還元の強化

GC2027 資本配分方針



基礎営業キャッシュ・フローの最大化が企業価値向上の重要課題

- 2016年度から2024年度(8年間)の基礎営業キャッシュ・フローはCAGR11%で増加
- 基礎営業キャッシュ・フロー最大化に向けた取り組みをさらに推進



基礎営業キャッシュ・フロー 最大化に向けた取り組み

①実態純利益強化

(既存事業の磨き込み、成長投資、戦略プラットフォーム型事業)

②関連投資からの配当強化、 キャッシュコンバージョン*1の強化

③コアフリーキャッシュ・フロー*2 の捕捉・最大化

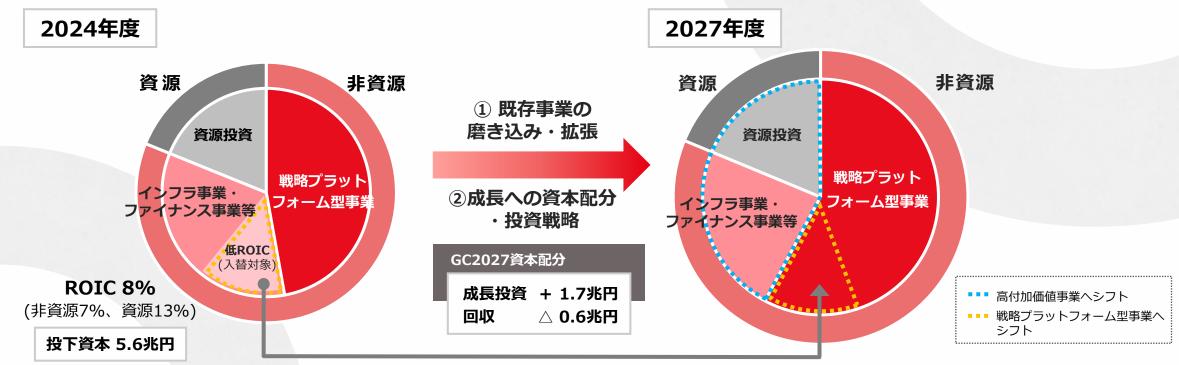
*1キャッシュコンバージョン = 基礎営業キャッシュ・フロー ÷ 実態純利益

*2コアフリーキャッシュ・フロー = 基礎営業キャッシュ・フロー - CAPEX等



戦略プラットフォーム型事業、高付加価値事業で構成される強靭な事業ポートフォリオへの変革

- 成長なき事業・低資本効率事業からの回収促進、戦略プラットフォーム型事業への重点投資
- 2030年度に向けて非資源ROIC10%以上を目指す



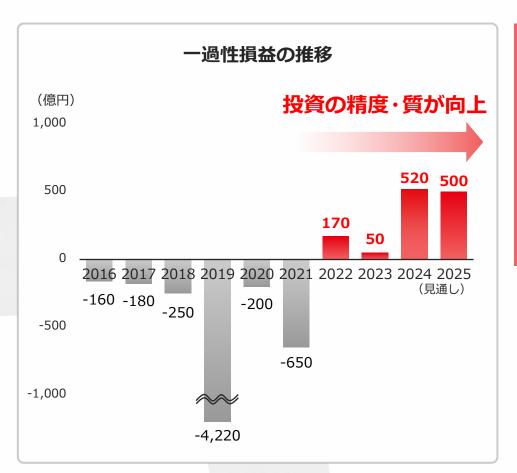
低成長・低資本効率事業を回収

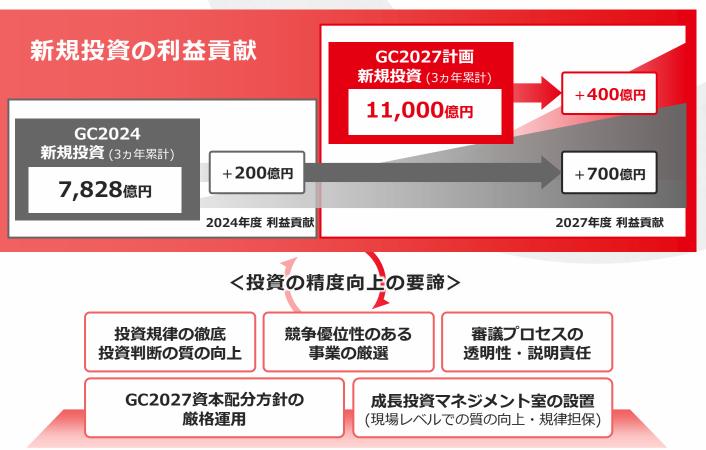
成長領域×高付加価値×拡張性の要素を兼ね備えた 戦略プラットフォーム型事業に重点投資



投資の精度向上は企業価値向上には不可欠

○ 投資の精度を高めた結果「資産の質の向上(一過性損失 ➡ 資産入替利益)」「新規投資からの着実な利益積み上げ」を実現







利益とキャッシュ・フローの継続的な成長による株主還元強化の追求

- 企業価値向上には、継続的な株主還元強化(Shareholder Returns強化)が重要
- 2019年度から2024年度(5年間)の総還元額はCAGR31%で増加、引き続き更なる株主還元強化を追求

